

みんなで目指そう！ごみ半減！ 循環のまち・京都プラン

— 京都市循環型社会推進基本計画(2009-2020) —



平成22年4月
京都市

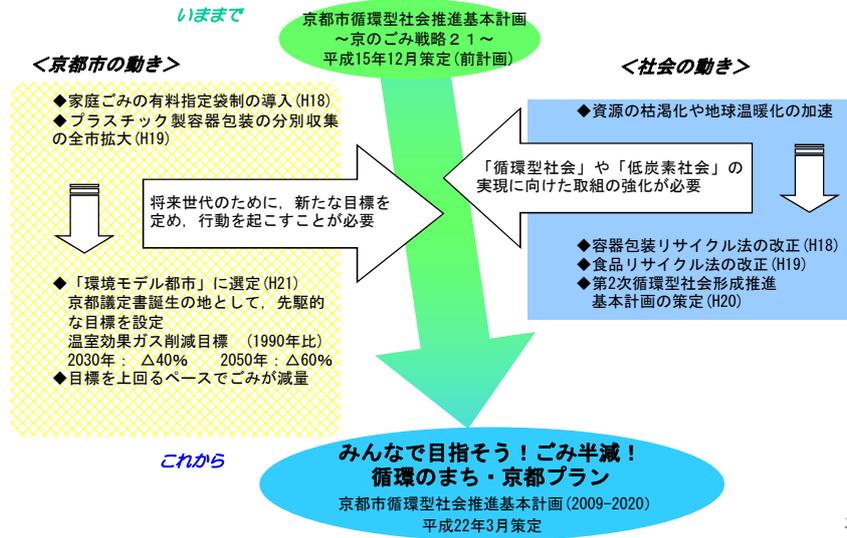
1

目次

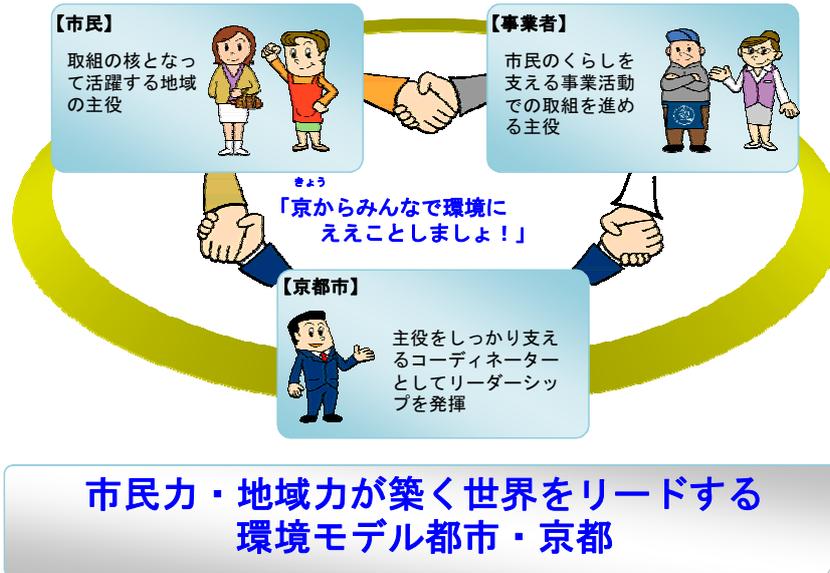
- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の基本理念
- 3 取組目標
- 4 目標達成のための3つの基本方針と9つの基本施策
- 5 基本施策を推進するための5つの重点戦略
- 6 ごみ処理の基本的な考え方
- 7 施設整備計画
- 8 計画の推進

2

1 計画策定の趣旨

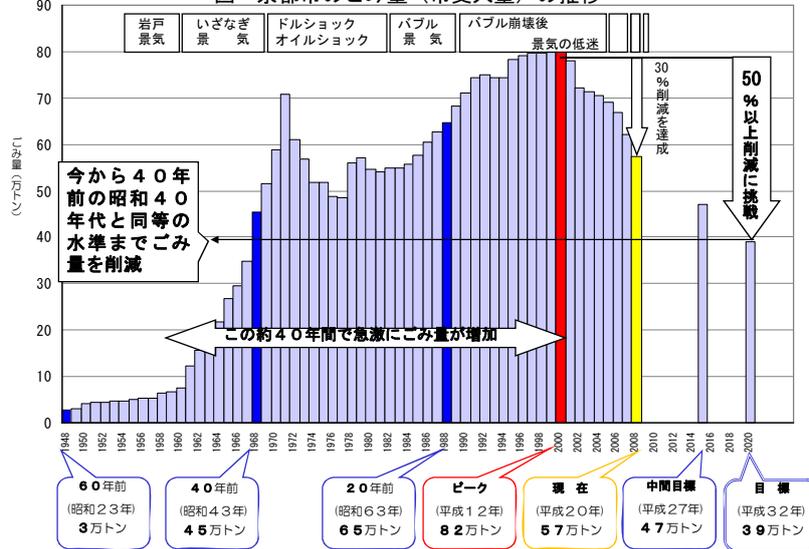


2 計画の基本理念



3 取組目標

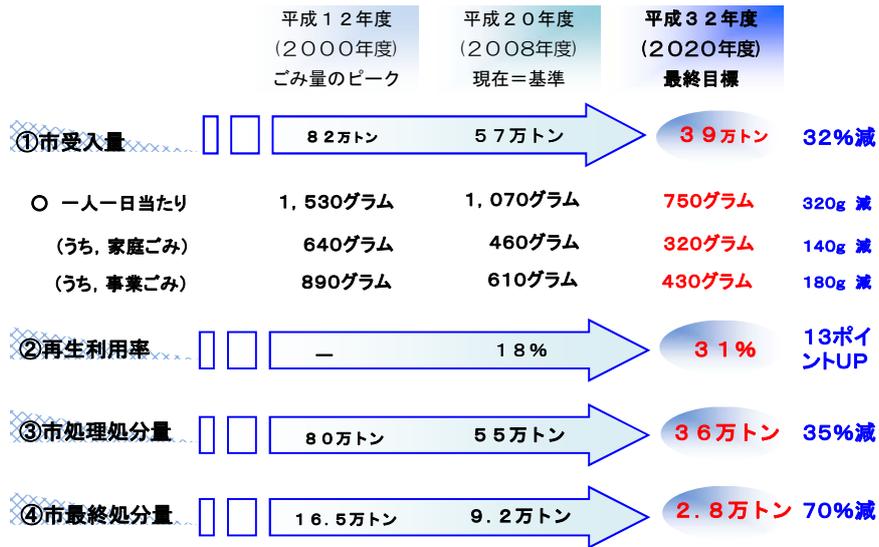
図 京都市のごみ量（市受入量）の推移



5

3 取組目標

～ ごみ減量に向けた取組目標 ～



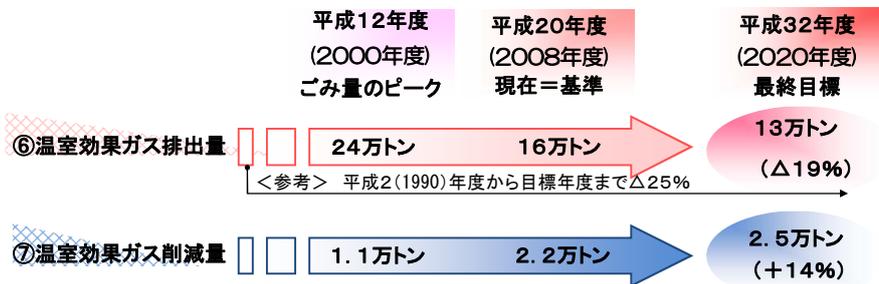
6

3 取組目標

～ 循環型社会構築に向けた取組目標 ～



～ 低炭素社会構築に向けた取組目標 ～



4 3つの基本方針と9つの基本施策

【施策の体系】

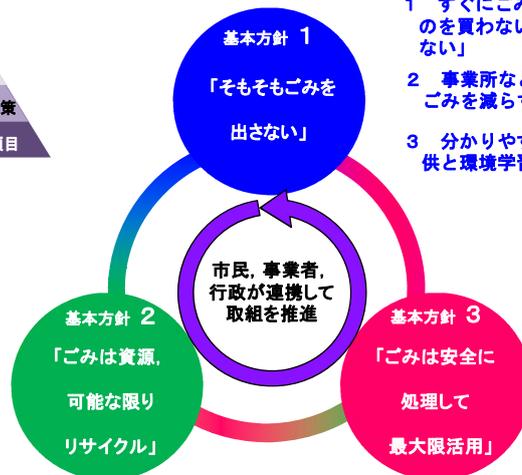


基本施策

- 1 すぐにごみになるものを買わない・つらない
- 2 事業所などから出るごみを減らす
- 3 分かりやすい情報提供と環境学習機会の拡大

基本施策

- 1 徹底的な分別によるリサイクルの推進
- 2 地域力を活かした地域密着型の取組の推進
- 3 「学生のまち、観光のまち」ならではの取組の推進



基本施策

- 1 ごみからのエネルギー回収の最大化
- 2 環境負荷を低減するごみの適正処理
- 3 市民の安心・安全とまちの美化の推進

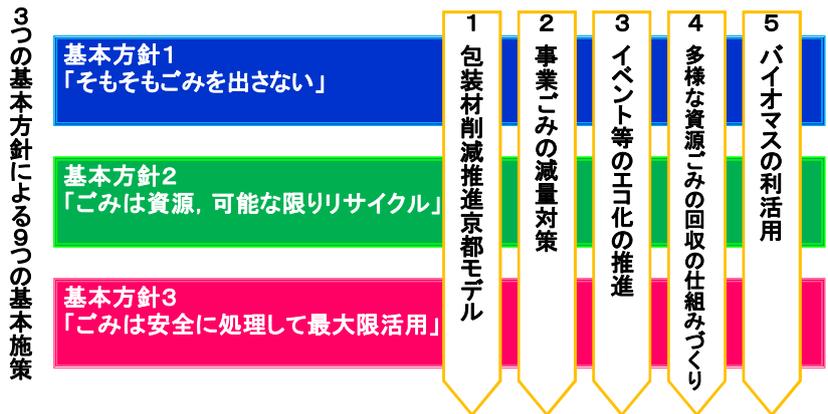
8

5 基本施策を推進するための5つの重点戦略

○京都市の現状からみた主要課題に対応するための重点戦略を実施

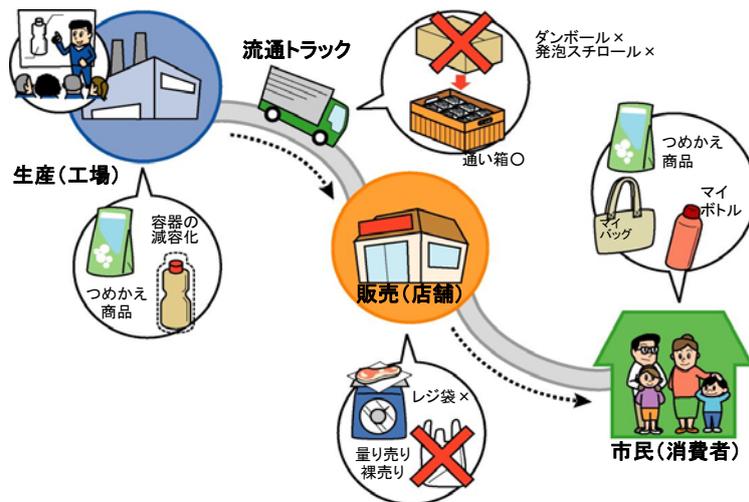
○重点戦略に関連する複数の施策を融合するかたちで取組を推進

基本施策を推進するための5つの重点戦略



重点戦略1 包装材削減推進京都モデル

○容積で6割を占めるごみ中の容器包装材の削減は、ごみの減量と温室効果ガス削減の切り札



重点戦略1 包装材削減推進京都モデル

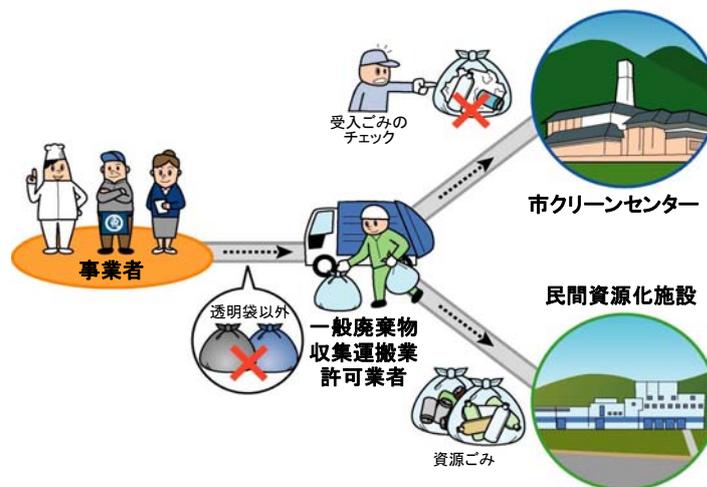
～ 推進項目 ～

- ① ごみ減量推進会議や環境関連団体等の地域における活動と連携した「すぐにごみになるものを買わない、財布にも環境にもやさしい消費行動」の普及・拡大
- ② 「NO！レジ袋宣言」による市民、事業者と連携した本格的なレジ袋削減の取組の全市展開
- ③ 京都サンガF.C.やNPO等の市民団体、大学、企業などと連携したマイボトル・マイ箸等の持参運動の全市展開
- ④ レジ袋削減協定のコンビニエンスストアやドラッグストアなどへの対象業種の拡大、参加事業者の拡大による大幅なレジ袋の削減
- ⑤ 「ごみになるものをつくらない・売らない」エコビジネスモデルの普及・促進
- ⑥ 業種別の包装材の削減方法や削減率を定めたガイドラインの作成と徹底した指導
- ⑦ 生産、流通、販売の各段階における包装材の一定量の削減を義務付ける条例の検討
- ⑧ 大規模小売店舗の出店計画時におけるごみ処理方法や資源化方法等の計画書提出の義務化



重点戦略2 事業ごみの減量対策

○家庭ごみと比較して排出量の多い、事業ごみ対策を強化



12

重点戦略2 事業ごみの減量対策

～ 推進項目 ～

- ① 大規模小売店舗の出店計画時におけるごみ処理方法や資源化方法等の計画書提出の義務化
- ② チェーンストア等多量にごみを排出する事業所への減量指導範囲の拡大
- ③ 業者収集ごみの透明袋製の導入
- ④ 分別排出義務の明確化と収集運搬業者へのペナルティを含む指導の徹底
- ⑤ クリーンセンターにおける搬入監視の強化と分別できていない資源ごみ及び不適物の受入拒否の実施
- ⑥ 有料指定袋制度など事業者が排出するごみの量に応じて処理料金を負担し、減量努力が反映される仕組みづくり
- ⑦ ごみの減量や再資源化を促す処理手数料の見直し
- ⑧ ごみ減量等に取り組む優良事業所の表彰
- ⑨ 業種別のきめ細かい取組方法などの事業者向けの情報提供の推進
- ⑩ オフィス町内会などの小規模事業所が連携した効率的な資源回収の促進



13

重点戦略3 イベント等のエコ化の推進

〇リユース食器の使用や、ごみの徹底的な排出抑制を義務づける「イベントグリーン要綱」の策定と段階的实施

地域のまつりや学園祭



イベント会場



観光地



14

重点戦略3 イベント等のエコ化の推進

～ 推進項目 ～

① 京都サンガF.C.やNPO等の市民団体、大学、企業などと連携したマイボトル・マイ箸等の持参運動の全市展開



② 学園祭や地域のイベント等のエコ化を推進することにより、次代を担う若者を中心とした更なる環境意識の向上を図るイベントグリーン要綱の策定



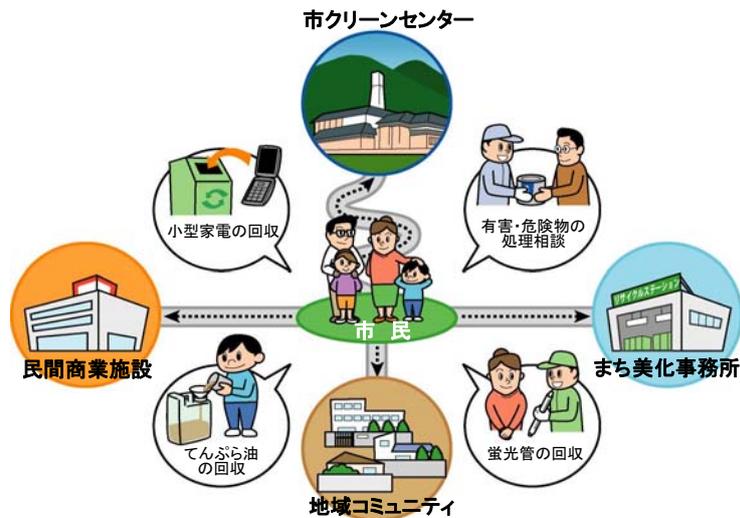
③ 観光地に設置しているゴミ容器への外国語やピクトグラム（絵文字）の標記



④ 宿泊施設等と連携した宿泊者に対する分別指導の推進

重点戦略4 多様な資源ごみの回収の仕組みづくり

○従来の資源ごみ回収や拠点回収に加えて、身近な場所に多様な資源回収の場所を設け、リサイクル機会の拡大を図ります



16

重点戦略4 多様な資源ごみの回収の仕組みづくり

～ 推進項目 ～

- ① 使用済みてんぷら油などの回収拠点拡大やコミュニティ回収の品目拡大など既存の資源回収の更なる充実
- ② 蛍光管や在宅医療廃棄物などの家庭から出る有害・危険物の回収
- ③ 土・日も開設する「より近い・より便利な」常設の回収場所の設置・拡大
- ④ 公共施設や民間商業施設における小型家電や携帯電話回収によるレアメタル等のリサイクルの推進



重点戦略5 バイオマスの利活用

- 下水汚泥や間伐材も含めたバイオマスの総合利用を図るため「バイオマス活用推進計画」を策定
- 都市部での落ち葉の堆肥化や中山間地域での農家等と連携した生ごみ堆肥化利用

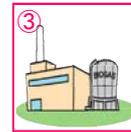


18

重点戦略5 バイオマスの利活用

～ 推進項目 ～

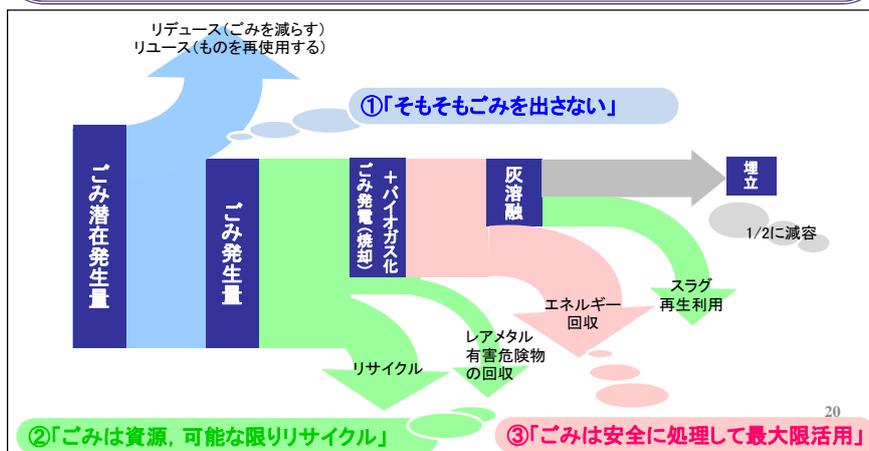
- ① 周辺地域における農家と連携した生ごみの堆肥化による地産地消のモデル地域の構築
- ② 学校や公園の落ち葉、家庭からの生ごみなどの地域単位での堆肥化の促進
- ③ 南部クリーンセンター第2工場建替え時におけるバイオガス化施設の併設
- ④ 市内に存在するバイオマス資源(間伐材, 剪定枝, 下水汚泥など)の総合的な利活用計画の策定とバイオガス化施設の社会実証の検討



10

6 ごみ処理の基本的な考え方

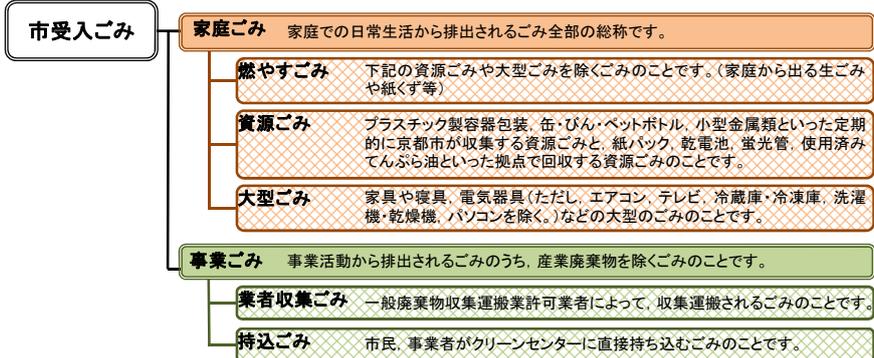
- 燃やすごみについて、**更なる資源化可能物の分別徹底が必要**
- これまで資源化方法がなかった**小型の家電機器などを新たに分別することでレアメタルの回収**を実施
- 資源化が困難なごみは、**ごみ発電とバイオガス化の併用により、エネルギー回収の最大化と温室効果ガス排出の最小化を目指す**



6 ごみ処理の基本的な考え方

～ ごみの区分 ～

- 京都市が受け入れているごみはその排出源によって、「家庭ごみ」と「事業ごみ」に大別されます。
- 家庭ごみは品目によって「燃やすごみ」、「資源ごみ」、「大型ごみ」の3つに、事業ごみは収集運搬方法や品目によって「業者収集ごみ」、「持込ごみ」の2つに区分されます。

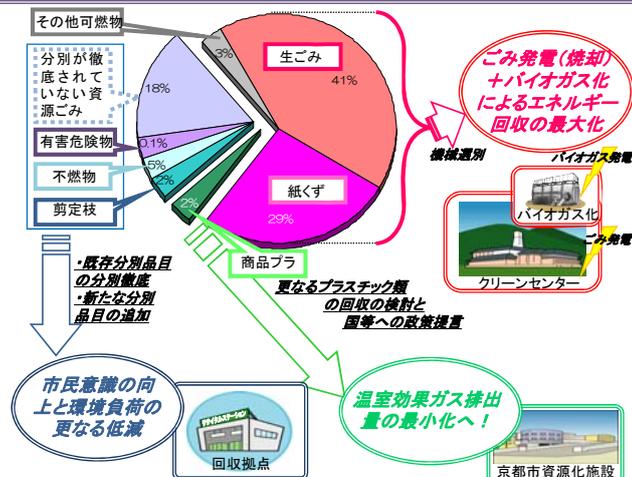


21

6 ごみ処理の基本的な考え方

～ 家庭ごみ ～

- 燃やすごみについて、更なる資源化可能物の分別徹底が必要
- 未利用の資源化可能物を新たに分別するとともに、ごみ発電とバイオガス化の併用により、エネルギー回収の最大化と温室効果ガス排出の最小化を目指す

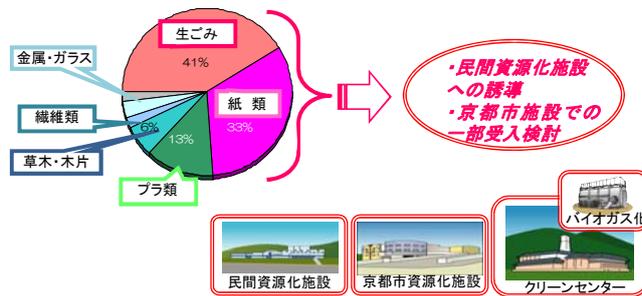


22

6 ごみ処理の基本的な考え方

～ 事業ごみ(業者収集ごみ) ～

- 分別排出と分別収集を徹底
- 生ごみ、紙類などの資源化可能物は民間資源化施設への誘導を図るとともに、京都市施設での一部受入も検討

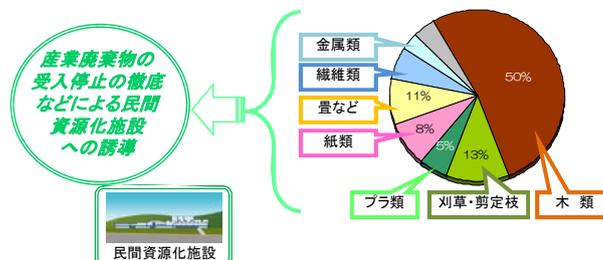


23

6 ごみ処理の基本的な考え方

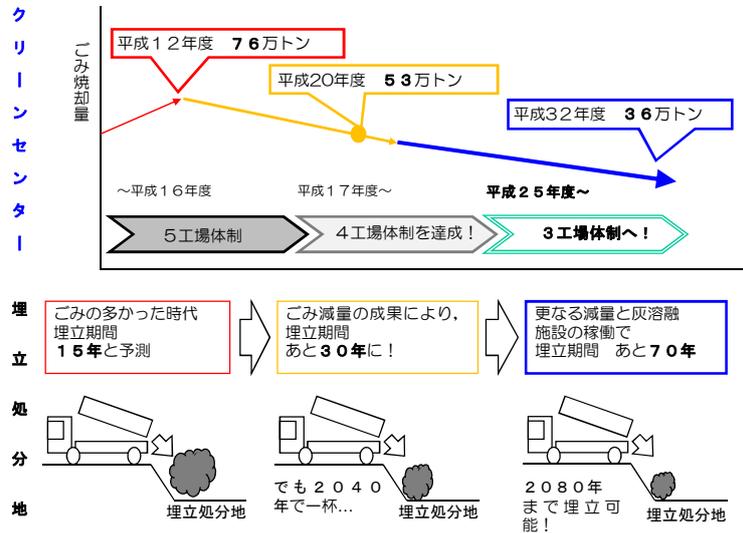
～ 事業ごみ(持込ごみ) ～

- 産業廃棄物などの受入禁止を徹底
- 民間資源化施設への誘導を図る



24

7 施設整備計画

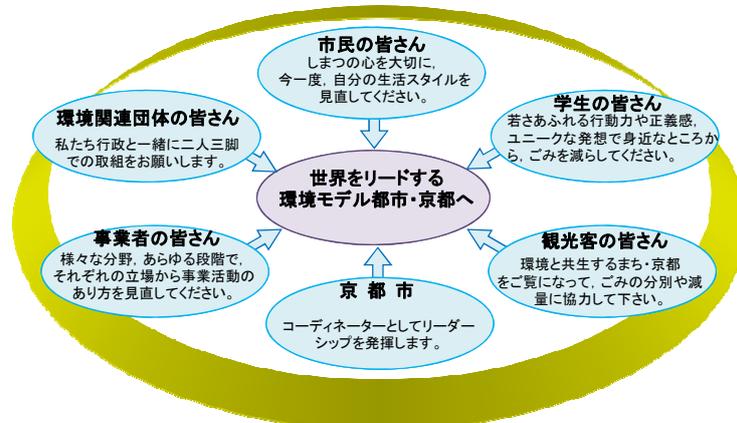


25

8 計画の推進

～ オール京都の連携～

- 計画の主役は、あくまでも、京都で暮らす、京都で働く、京都で学ぶ、そして、京都に集う一人一人の皆さんです。
- それらの積み重ねが、社会全体の価値観を変え、「大量生産、大量消費、大量廃棄」のシステムまでも変えていくことにつながります。

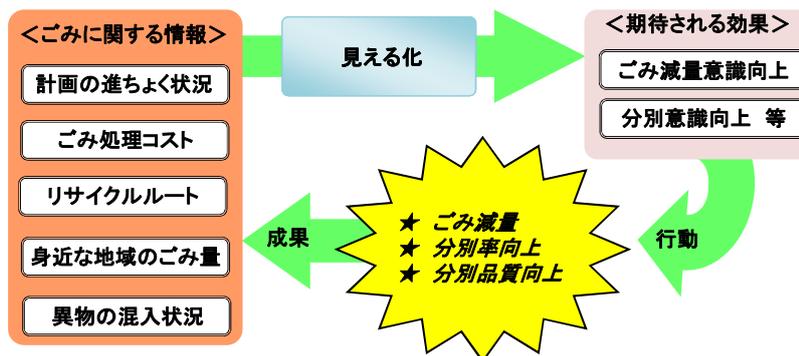


26

8 計画の推進

～ 計画の進捗管理方法～

- 継続的に計画の点検, 見直しを行うPDCAサイクルを確立します。
- 計画の進捗状況, 経済性・コストを示すデータなどについて, 正確に分かりやすく, 誰もが入手しやすい方法で公表するなど, 情報の「見える化」を推進します。



皆様のご協力をお願いいたします！



28